

2010年4月6日

日立ソフト

## ITシステム障害原因分析パッケージ「RevenueMax Ecsia」の機能を追加 ～ ログ収集作業の効率化と通知機能との連携により、システム運用コストを低減 ～

日立ソフト（本社：東京都品川区、取締役社長 諸島 伸治）は、システム障害の対応状況の進捗を管理する「RevenueMax Ecsia（レベニューマックス エクシア）」のログ収集における操作性向上と障害発生時の通知機能強化を図り、「RevenueMax Ecsia V1.4」として2010年4月6日より販売開始します。これにより、システム障害に関する一連の作業を効率よく行なうことが可能となり、ITシステムの早期復旧と運用コスト削減を支援します。

どんなに堅牢に構築されたシステムであっても障害が発生する可能性があります。システム障害時には、迅速に障害原因を特定し、適切に対応する必要があります。被害を最小限に食い止めることが重要です。

日立ソフトが提供する「RevenueMax Ecsia」は、システム監視サーバからのイベント情報（障害発生情報）を取得し、「障害原因解析」「障害ナレッジ検索」「障害対応進捗管理」の各機能を連携させて過去の障害情報から障害原因を類推し、IT障害原因究明時間の短縮を実現します。このたび、新たに日立ソフトの分散サーバ環境統合運用ツール「Ioperation（アイオペレーション）」と連携し、サーバへのログイン、コマンド入力を排除することで、障害の調査に必要なログの収集作業の操作性を向上しました。また、日立ソフトの総合通報管理システム「TELstaff（テルスタッフ）」と連携機能も新たに追加し、関係者への連絡・通知にかかる作業の効率化を図りました。これにより、「RevenueMax Ecsia」はITシステムの障害復旧の時間短縮を実現することでITシステムの早期復旧と継続性の確保し、ビジネスへの影響を軽減、システム運用に掛かるコストの低減を図ります。

### ■ 分散サーバ管理統合運用ツールとの連携機能

従来「RevenueMax Ecsia」では、システム障害の切り分けに必要なログの収集やサーバに対する操作に関して、ドキュメントファイルにて作業内容を提示するのみであり、実行は各サーバに対してコマンドを発行する必要がありました。このたび、分散サーバ環境統合運用ツール「Ioperation」連携することで、「RevenueMax Ecsia」から直接「Ioperation」の操作画面を起動し、日本語で表示されたメニューを選ぶだけでコマンドを実行できます。これにより、サーバへのログイン、コマンド入力が必要なくなり、ログ

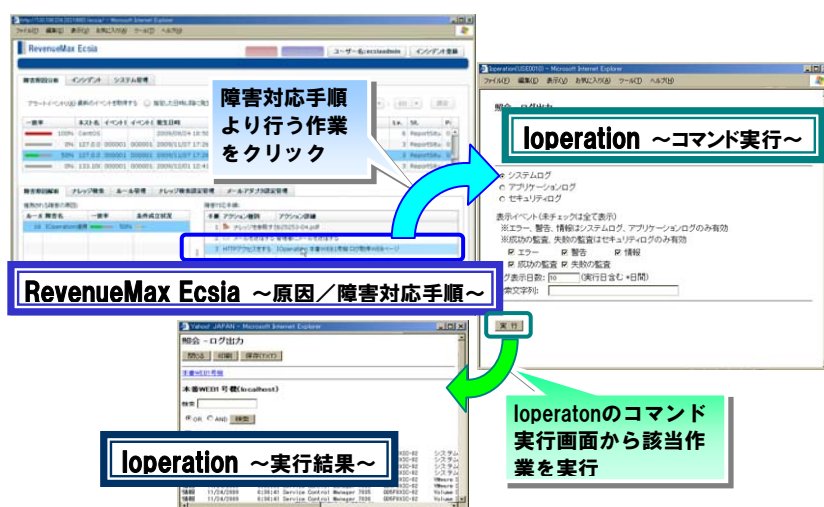


図 1. 「Ioperation」連携画面

収集などの必要な操作をスムーズに行い、操作ミスを防ぐことができます。

「Ioperation」は、業務毎、機能毎に設置された複数のサーバへのコマンド実行を、一元管理する Web インターフェースから GUI 化したメニューを選ぶだけで一括操作できるパッケージ製品です。

## ■ 総合通報管理システムとの連携機能

従来「RevenueMax Ecsia」では、利用者が能動的に画面を閲覧することで対応状況の把握を行なっていましたが、このたび、総合通報管理システム

「TELstaff」と連携させることで、

「RevenueMax Ecsia」側から自動的にインシデント（システム運用における障害対応の管理単位）の新規登録時や更新時などの進捗状況をメールにより担当者への通知します。インシデントの情報もメールに付けて関係者へ送信できるため、発生した障害に対して迅速な対応ができます。

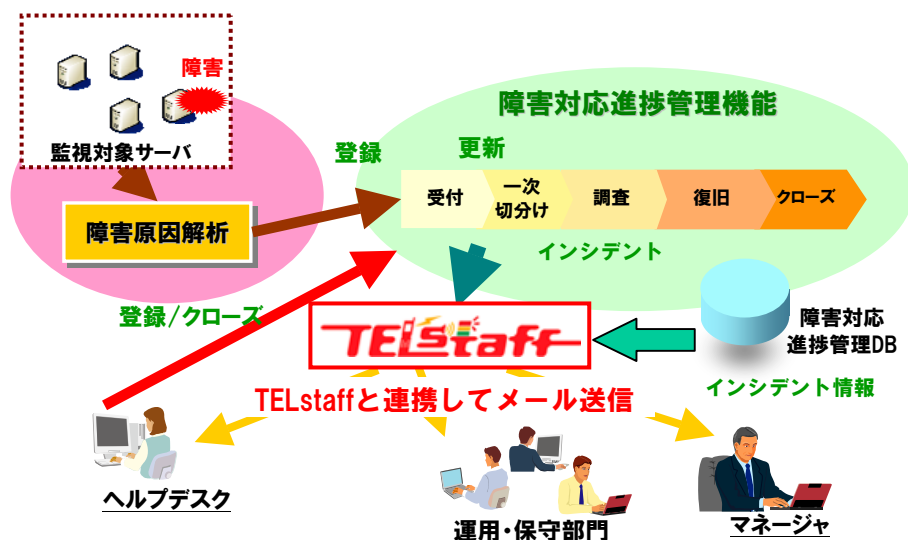


図 2. 「TELstaff」連携のイメージ

「TELstaff」は、システム監視ツールや運用ツールからのアラームなどを、時間に応じた多彩な通知メディアへ、伝えたい人だけに分かり易く、確実に自動通知するパッケージ製品です。

## ■ 「RevenueMax Ecsia」について

機能	内容
障害原因解析機能	<ul style="list-style-type: none"><li>過去の障害との相関をチェックし、完全に一致するものがなくても類似の障害情報を提供</li><li>発生した障害イベントとの類似判定をするための推測ルールを設定可能</li><li>イベント情報に含まれるキーワードをあらかじめ登録し、マニュアル等のナレッジ類に対して『ナレッジマッチング』を行うことで、障害原因ルールが登録されていないイベント情報からもナレッジ情報を参照することが可能</li></ul>
障害ナレッジ検索機能	<ul style="list-style-type: none"><li>散在する過去の障害対応情報を収集、蓄積、検索可能</li><li>過去の障害に紐付けられたナレッジを「障害原因解析」と連携して提供</li></ul>
障害対応進捗管理	<ul style="list-style-type: none"><li>障害発生から対応内容を登録、対応状況の進捗を管理</li><li>障害対応の内容は障害ナレッジ検索より検索可能、対応手順としても蓄積</li></ul>
分散サーバ環境統合運用ツール連携機能 (今回追加)	<ul style="list-style-type: none"><li>ログ収集やサーバ操作をコマンド実行可能</li></ul>
総合通報管理システム連携機能 (今回追加)	<ul style="list-style-type: none"><li>進捗状況をその都度メールにて通知</li></ul>

## ■ 動作環境

項目		内容
サーバ	OS	Windows Server 2003 R2 SP2
	前提製品	Sun Java SE Development Kit(JDK) 5.0
クライアント	OS	Windows XP SP2
	前提製品	Internet Explorer 7、Adobe Flash Player 10

## ■ 価格

製品名	標準価格（税込）
RevenueMax Ecsia Manager（Adapter 含む、10 ノードライセンス付き）	7,140,000 円～
RevenueMax Ecsia Manager/Tracking	1,575,000 円～

※「Ioperation」「TELstaff」は別途購入が必要

■ 出荷開始時期：2010 年 4 月 6 日

■ 「RevenueMax Ecsia」ホームページ：<http://hitachisoft.jp/products/ecsia/>

<本件に関するお問い合わせ先>

担当部署：日立ソフト @Sales24

ホームページ：<http://sales24.hitachisoft.jp/> Tel：03-5479-8831

<報道機関からのお問い合わせ先>

担当部署：CSR 本部 広報・宣伝部 広報 IR グループ 担当：槇田、竹橋

Tel：03-5479-5013 Fax：03-5780-6455 E-mail：[press@hitachisoft.jp](mailto:press@hitachisoft.jp)

※ Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

※ RevenueMax、TELstaff、Ioperation は日立ソフトの登録商標です。

※ その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

※ 日立ソフトの正式名称は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。